



理 念

患者中心の最善の医療の実施

勤労者に対する総合的な医療の実施

地域における救急・急性期・高度先進医療の実施

Contents

院長就任のご挨拶	2
診療科のご紹介 呼吸器外科	2
公開講座のご案内(眼科)	2
診療科のご紹介 心臓血管外科	3
栄養相談のご案内	4

院長挨拶



ご挨拶

病院長 調 所 廣 之

このたび2008年4月1日より柳澤信夫前院長の後任として関東労災病院院長に就任致しました。1977年に耳鼻咽喉科部長として当院に赴任して以来、多くのご指導を賜り深く感謝しております。もとより微力ではございますが、決意を新たに、最善を尽くして重責を全うする所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

新年度にあたり「選ばれる病院～医療の質と職員の資質向上～」を目標に掲げました。患者中心の良質な医療を提供することから患者から選ばれる病院へ、医療人としてのモラルと品位の醸成により医療従事者からも選ばれる病院へと成るべく全職員一丸となり、その先頭に立ち努めていきたいと考えております。今後も地域の中核病院としての責務を果たして行く所存であります。

何卒 前院長同様に格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



呼吸器外科

呼吸器外科 副部長 ワタナベ カツヤ
渡 部 克 也



ごあいさつ

はじめまして。このたび4月より呼吸器外科に勤務しております渡部克也です。横浜市立大学を卒業し、横須賀共済病院、神奈川県立がんセンター、横浜市総合医療センターなどを経て関東労災病院に参りました。現在、呼吸器外科は永島琢也との2名体制で診療を行っています。

当科の診療内容と特色

当科の対象疾患は、肺悪性疾患(原発性肺癌、転移性肺腫瘍など)、肺良性腫瘍、自然気胸、縦隔腫瘍(胸腺腫瘍、神経原性腫瘍など)、胸壁腫瘍(悪性中皮腫など)、膿胸、多汗症、胸部外傷などです。

肺癌について

現在、日本人の死亡原因のトップは癌ですが、なかでも肺癌による死亡率が1位(男性1位、女性2位)を占めております。肺癌の手術治療成績(5年生存率)はⅠA期(腫瘍最大径が3cm以下でリンパ節転移がないもの)が約80%、ⅠB期(腫瘍最大径が3cmをこえるもののリンパ節転移がないもの)が約60%程度といわれております。ところが、ⅡA、ⅡB期はそれぞれ約50%台、約40%と悪化してまいります。肺癌は、胃癌、大腸癌、乳癌などと比較しても、確定診断が困難で、比較的病状が進んだ状態で発見されることが多く、治療成績が不良になる傾向があります。このことから、肺癌の制圧にはいかに早期に発見して手術を行うかが最重要であると考えられます。

胸腔鏡手術について

近年では光学機器や手術器械の発達により、旧来の肋骨切除を伴う開胸手術と同等の手術が、より小さな傷で可能となりました。当科では上述の疾患に対し、クリニカルパスを導入して胸腔鏡手術を行っております。術後の回復も早いことから、ほとんどの方は術後一週間前後で退院可能です。また、手術適応や術式の選択に苦慮するご高齢の患者さんに対しても積極的に手術を検討いたします。もちろん「癌の完全切除(=がんの根絶)」と「術後の生活に支障を来さない」という2点を念頭におき、十分なご相談のもとにその患者さんにとってベストな手術を行うことを心がけております。

早期発見、早期治療のために

当科では呼吸器内科、放射線科、病理診断科と連携してヘリカルCT、気管支鏡検査、喀痰細胞診などを、また、ゆうあいクリニックと提携してPET検査を行いながら可及的速やかに診断を進めていきます。

公開講座のご案内(眼科)

テーマ 「白内障手術の難症例」

日時 平成 20 年 7 月 24 日(木曜日)
19:00~20:00

会場 関東労災病院 講堂
〒211-8510 川崎市中原区木月住吉町1-1
TEL 044-411-3131

講師

関東労災病院 眼科部長 平戸 孝明

◆出身大学：東京大学

◆専門分野：眼底疾患、網膜硝子体疾患、網膜の電気生理学、心理物理学、眼外傷

◆所属学会・学位・認定等：日本眼科学会 眼科専門医

日本眼科手術学会 日本網膜硝子体学会

日本眼感染症学会



心臓血管外科

心臓血管外科 医師 マルタ カスト
丸 田 一 人



1. 概要

①診療体制

2008年6月より心臓血管外科が新設されました。現在は末梢血管疾患を中心に手術を行っています。また今後心臓・大血管手術ができるように現在体制を整えているところです。それまでは当院で手術前の検査と術後の経過観察を行っています。

②治療方針

当院循環器内科と連携を取りながら、心臓血管手術が必要な場合は、迅速に対応しています。手術前後の経過観察や一定期間経過観察を行った後は、医療連携を介してホームドクターへ紹介いたします。末梢血管疾患は、当院で治療の後にホームドクターへ紹介いたします。

③診療科の特色

心臓弁膜症、虚血性心疾患、大血管疾患(動脈瘤、動脈解離)、末梢血管疾患などを中心に、循環器内科と連携して適切と思われる治療法を提案しています。手術が必要な場合には、その必要性も含め十分な説明を行っています。セカンドオピニオンにも応じています。

栄養相談のご案内

当院では、糖尿病、脂質異常症、その他疾病などの方を対象に、専門の管理栄養士による栄養(食事)指導を行っております。「食事を気をつけてくださいね」「体重を落として下さい」と言われても…。具体的な説明が無いから判らない、長年ほっとしているから不安だ…という方はどうぞお気軽にご相談下さい。

1. 実施日 4. 栄養指導日

(完全予約制) 毎週 月曜日 4名
火曜日 5名
金曜日 5名

2. 予約までの流れ

現在治療を受けている医療機関主治医

申し込み

電話予約 044-435-5041 (予約センター)
受付時間 8時15分～17時00分

・受診申込書 ・診療情報提供書
・栄養管理情報提供書 を F A X

FAX送信

FAX番号 044-435-5030

関東労災病院へ

3. 患者様がお持ち頂くもの

- ①受診申込書
- ②診療情報提供書(糖尿病内分泌内科宛)
- ③栄養管理情報提供書
- ④保険証
- ⑤診察券(受診歴がある方)

関東労災病院へ

関東労災病院にて ～ 当日の流れ ～

①番窓口(初めての方)へ

初診受付

糖尿病内科(Aブロック)の受付へ

診察・問診

栄養相談室

栄養相談実施

②番窓口へ

会計箋提出

③番窓口にて

精 算

Aブロック受付にて

栄養管理情報提供書(返書)受取り

帰 宅

5. 料 金

初診料270点 + 栄養指導料130点 + 診療情報提供書250点 = 650点 (3割負担の方=1950円)

6. お問い合わせ

関東労災病院 地域医療連携室 電話 044-435-5031(直通)

ブリッジとは…(橋):医療機関との橋渡し、患者様と医療機関との橋渡しという意味。